

# 令和5年度 北九州市立上津役小学校 学校経営方針

北九州市立上津役小学校 校長 宮崎 貴寛

学校教育目標  
 「思いやりの心を持ち すすんで学び たくましく生きる子どもの育成」  
 ～アフターコロナを見据えた学校教育の創造・挑戦・協働～  
 上津役中学校区で目指す子ども像【やさしく、かしこく、たくましく】

本市が目指す子ども像  
 ～SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成～  
 ○ 自立し、思いやりのある子ども  
 ○ 新たな価値創造に挑戦する子ども  
 ○ 本市に誇りをもつ子ども

目指す学校像  
 ～学び甲斐、通わせ甲斐、働き甲斐のある学校～  
 ○ 子どもが「この学校で学びたい」と思う学校  
 ○ 保護者が「この学校で学ばせたい」と思う学校  
 ○ 職員が「この学校で働きたい」と思う学校

目指す子ども像 【やさしく】  
 「思いやりの心を持ち、相手の身になって行動できる子ども」

目指す子ども像 【かしこく】  
 「すすんで学び、豊かな思考力と表現力をもつ子ども」

目指す子ども像 【たくましく】  
 「健康でたくましく、最後までやり遂げる子ども」

【重点目標】  
 1 自分も相手も気持ちがよくなるあいさつができる子ども  
 2 「あったかことば」を使える子ども  
 3 学校や教室を楽しんでいる子ども

【具体的な方策】  
 ①子どもの創意工夫を生かし、主体的な活動へと導く方策  
 ・「気持ちのよい挨拶」をイメージする「挨拶名人10の階段」  
 ・計画委員会や挨拶リーダーによる創意工夫ある活動  
 ②「あったか言葉」が溢れ「自分の居場所」を感じる仲間づくり  
 ・「あいすがすきだ」を意識した実践 ～あったか言葉の木～  
 ・帰りの会の「今日のキラリさん」～見付け合う、認め合う～  
 ③特別活動の充実と積極的な生徒指導体制の確立  
 ・学級活動(係、学級会)や集会活動の充実  
 ・迅速な初期対応と組織で行う対応(危機管理のさしすせそ)  
 ・「報告」「連絡」「相談」の徹底。管理職による「確認」

【重点目標】  
 1 自分の考えを表現する子ども  
 2 授業の中でタブレット端末を使える子ども  
 3 授業以外で60分以上読書及び家庭学習ができる子ども

【具体的な方策】  
 ① 学びの質を高める授業づくりへの挑戦  
 ・主題研究「メンタリング研修」を生かした指導力の向上  
 ・「『学びの質を高める授業づくり』4つのステップ」における各自の目標設定～自己評価・自己申告に掲載～  
 ② ICTを活用した授業改善  
 ・「個別最適な学び」「協働的な学び」を視野にしたICT活用  
 ・授業の中でICTを活用する場の設定、ドリルアプリの活用  
 ③ 「身近に本、気軽に読書」を合言葉にした読書活動及び家庭学習「学びチャレンジ」の推進  
 ・「準備」時間を活用した読書活動と「個別最適型」家庭学習

【重点目標】  
 1 自分の体力が向上していると感じる子ども  
 2 体育の授業で「できなかったこと」が「できる」ようになったと感じる子ども  
 3 ルールやマナーを守ることができる子ども

【具体的な方策】  
 ① 体力向上の実感を促す方策  
 ・視覚的に個々の「体力向上の実感」を促す工夫と、遊びながら体力向上を図る場の工夫  
 ② 問題解決的な学習展開による体育科の授業づくり  
 ・自己の課題→動きの確認→学び合い→振り返り(技能向上)  
 ・自分の動きを視覚的にとらえるICTの活用  
 ③ 共通理解に基づく、凡事徹底  
 ・名札の着用、箸や上靴等の忘れ物に対する指導、運動場や保健室等のルール、提出期限の厳守  
 ・フッ化物洗口に伴う実践

目指す教師像 ～愛と情熱と信頼～  
 ○子どもに「正しいこと、大切なこと」を教え、範を示す教師  
 ○子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教師

目指す教師像 ～実践的指導力の向上～  
 ○子どもの力を伸ばすために、日々の授業を大切にする教師  
 ○指導力の向上を目指し、互いに支え合い・高め合う教師

目指す教師像 ～チーム上津役としての実践～  
 ○前例踏襲にとらわれず、子どもの姿を基に、創意工夫する教師  
 ○子どもと共に汗を流し、チームの一員として行動する教師

シビックプライドを育み、人・まちつなぐ「上津役プロジェクト」の実践、業務改善(在校等時間【月45時間以内】の実行)